

2016年10月25日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

世界最大の B to B 向け産業技術の専門展示会

HANNOVER MESSE 2017



2017年4月24日（月）～28日（金）独・ハノーバーで開催

テーマは「Integrated Industry - Creating Value」

最新の産業技術・製品が一堂に会する世界最大のB to B専門展示会「HANNOVER MESSE（ハノーバーメッセ）」は、次回、2017年4月24日（月）～28日（金）に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。（主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー）

次回、「HANNOVER MESSE 2017」は70カ国・地域から6,500社が出展し、80カ国・地域から20万人以上の来場が見込まれています。前回（2016年）実績では、会期中の商談件数は560万件にのぼり、世界各国よりリーダーが訪れるなど、政治とビジネスの重要な場となっています。同時に、1,000を超える技術カンファレンスやフォーラムが開催され、最新技術動向が一堂に紹介されます。

2017年のテーマは「Integrated Industry – Creating Value（産業システムの統合化 -価値の創造）」。

世界中の製造業では、IoTやAIといった最新技術を駆使してデジタル化を進めています。デジタル化により、設備や機器の高度化のみならず、新たな事業分野が生まれたり、生産性と従業員満足度が向上したりといった価値創造が実現します。今回のテーマには、事業化による新価値創造がインダストリー4.0の次のステップであるとの期待が込められています。

HANNOVER MESSE 2017主要トピックス（詳細は次ページご参照）

- ◆世界の産業界にとってのビジネスと政治の場
- ◆スタートアップの拠点として起業家を支援
- ◆パートナーカントリーはポーランドに決定

日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部では、現在日本企業の出展を募集しており、出展料金は、最小出展面積9㎡あたり2,653.00ユーロより。問い合わせは、ドイツメッセ日本代表部（TEL：03-3434-6447）まで。

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部

担当：竹生（たけお）、高間（たかま） 大津（おおつ）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail：DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

◆世界の産業界にとってのビジネスと政治の場

アメリカ合衆国のバラク・オバマ大統領は「世界有数の産業技術展示会」と呼び、ドイツのアンゲラ・メルケル首相は「数ある中で最大の産業展示会」と語っています。HANNOVER MESSEは、世界有数の産業技術展示会であるばかりではなく、世界中からの政界および産業界のリーダーが毎年会合をもつ場でもあります。

インダストリー4.0の発祥の地であり、推進の一大拠点でもあるHANNOVER MESSEは、ビジネスリーダーと、デジタル化により製造とエネルギーシステムがどのように変わりつつあるのかを学びたい政治家とを引き寄せる場です。さらに、ハノーバーメッセは主要な技術移転の場でもあり、製品開発から最終仕上げに至るまで、産業バリューチェーン全体が展示される世界で唯一のイベントでもあります。

●ドイツメッセ株式会社 ハノーバーメッセ担当上級副社長 マルク ジーマリング コメント

「産業の統合化は21世紀のものづくりを特徴づけるトレンドです。効率化と柔軟性と生産性の向上に向け、デジタル技術を取り入れない製造業は、競争力の維持に苦勞することでしょう。

前回2016年のHANNOVER MESSEでは、インダストリー4.0の実用アプリケーションについて、400以上の出展がありました。

次回2017年は、コボット（協働ロボット）、デジタルツイン、エネルギー効率、予測保守、スマート材料、スマートコーティングなどのトレンドが重点的に取りあげられます。

また、デジタル化によって、中堅中小企業などリソースが限られている企業であっても、産業の統合化による利益をどう得るといことについて、HANNOVER MESSEで体験いただけます。

HANNOVER MESSEで扱うデジタル技術は製造業にとどまりません。「Integrated Industry - Creating Value（産業システムの統合化 - 価値の創造）」のテーマのもと、エネルギー分野では、インダストリー4.0のエネルギーシステムに与える影響が展示されます。来場者は、従来型の発電、送電、配電、蓄電用の製品一式だけではなく、スマートグリッド、仮想発電所、再生可能資源、代替モビリティソリューションなどの新型ソリューションについても体験することができます。ホール13に設置される「Integrated Energy Plaza」では完全回生エネルギー技術について展示予定です。

◆スタートアップの拠点として起業家を支援

ハノーバーメッセでは1,000以上の技術カンファレンスとフォーラムが開催され、インダストリー4.0、産業用インターネット、デジタルトランスフォーメーション、サイバーセキュリティ、スマートグリッド、分散型電源といった幅広いトピックスが取り上げられます。

会期中設置される「Tec2You」（学生向け）「Job & Career」（エンジニア向け）「WoMen Power」（女性向け）などのプログラムでは、エンジニアとしてのキャリアに関するガイダンスやアドバイスをを行います。

研究開発分野および製造分野のスタートアップに対する需要は、かつてないほど強まっています。ホール3の「Young Tech Enterprises」では、起業家とスタートアップ企業に加えて、スタートアップネットワーク、アクセラレーター、経済関連行政機関の紹介があります。

プログラムには、中心となるフォーラム、ビジネスマッチングイベント、ワークショップなどが含まれています。

◆パートナーカントリーはポーランドに決定

EUで6番目の経済規模をもつポーランドは、長年の安定した経済成長による恩恵を受けています。2015年には、EUでトップから5位に入るダイナミックな経済地域であり、GDPは4,235億ユーロ、対外貿易額は前年比8%増の3,540億ユーロでした。多彩な輸送インフラなどの公共工事プロジェクトは、環境技術、鉱山機械、造船、ITセキュリティ、無人高所作業車などの地域内の国外投資家にとって大きな魅力となっています。開発資本の蓄積、国外市場への拡大、社会開発と地域開発の促進を進めているポーランドの経済開発省にとって、再工業化とイノベーションはキーとなる政策です。ハノーバーメッセ2017において、ポーランドは、自国を対外直接投資はもとより、イノベーション企業とスタートアップ企業誘致に向けた展示を行います。ポーランドパビリオンはホール3を中心に設置されます。

HANNOVER MESSE 2017

ハノーバーメッセ（国際産業技術見本市）開催概要

会 期：2017年4月24日（月）～28日（金） 各日9:00～18:00

会 場：ハノーバー国際見本市会場（Messegelände, 30521 Hannover, Germany）

主催・運営：ドイツメッセ株式会社（Deutsche Messe AG）

所在地：Messegelände, 30521 Hannover, Germany Tel：+49(0)5 11/89-0

E-mail：info@messe.de ホームページ：www.messe.de

パートナーカントリー：ポーランド

展示内容：

Industrial Automation	Motion, Drive & Automation
Digital Factory	Energy
ComVac	Industrial Supply
Research & Technology	

出展料金：2,653.00ユーロ/9m²～

入場料金：1日券（Day Ticket） 前売り28.00ユーロ 当日窓口35.00ユーロ （前回実績/金額は予定）
通し券（Season Ticket） 前売り64.00ユーロ 当日窓口76.00ユーロ （前回実績/金額は予定）
※日本円で1日券・通し券は、2017年1/18～4/4まで、ドイツメッセ日本代表部入場券購入
ページ（http://www.jma.or.jp/dms/ticket_form/）にて販売予定
※前売り券の購入（ユーロ）は、ハノーバーメッセホームページ
（www.hannovermesse.de/tickets）まで
※宿泊の予約は、ハノーバー観光局ホームページ（www.visit-hannover.com）まで

2016年実績

HANNOVER MESSE 2016

会期：2016年4月25日（月）～29日（金）

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

パートナーカントリー：アメリカ合衆国

■来場者：191,000人

- －30%がドイツ国外からの来場
- －68%が購入決権者
- －世界から2,500人報道陣が取材
- －パートナーカントリーからの来場者：約5,000人
- －95%が専門ビジター

■出展者：約5,200社（約75カ国・地域）

- －商談件数：560万件
- －日本からの出展：58社（海外現地法人含）

iCAD、愛知時計電機、明石合銅、石川県庁、稲畑産業、インデックスライツ、WELCON、
NC ネットワーク、欧州日産自動車会社、大阪狭山市、オムロン、川崎重工業、
キッツマイクロフィルター、キメラ、コニカミノルタ、小林製作所、コマツ産機、サクラテック、
ジェイアンドシー、ジャパンマグネット、シーメット、Zippel(スギノマシン)、シンキー、
SCREEN ファインテックソリューションズ、住友重機械工業、双日、タイカ、タイメック、
高石工業、田村製作所、CHAdEMO 協議会、THK、TDK、テクノ高槻、寺崎電気産業、
東海アヅミテクノ、東西サムテル、トックベアリング、日東化成工業、
日本コントロールシステム、日本電気、日本航空電子工業、
パナソニック マーケティングヨーロッパ、福井大学、フジクラ、
富士通テクノロジー・ソリューションズ、マツバラ金網、三菱電機、ミヤキ、明電舎、安川電機、
横河電機、Ryosho Europe、菱電商事、ルネサスエレクトロニクス、ロジックベイン、
ロブテックス、ローム

参考資料

世界に広がる Industry4.0 / Integrated industry 中国、アメリカ合衆国、インド、トルコの産業技術の動向

世界中で開催する国際産業技術専門展示会
www.hannovermesse.de/de/messe/hannover-messe-worldwide

ドイツメッセでは、世界の成長市場に向け、地域版HANNOVER MESSEといえる産業技術展を開催している。中国、アメリカ合衆国、インド、トルコでの開催から見える、各地域の需要状況、傾向、課題や可能性について以下に紹介する。

中国～「メイド・イン・チャイナ2025」実現に向け産業の高度化が進む

「メイド・イン・チャイナ2025（中国製造2025）」実現に向け産業の高度化が進む中国では、オートメーション、イノベーション、持続可能性、気候保全などがキーワードになっている。

こうした中、ドイツメッセでは、上海、北京、深圳で産業技術分野の展示会を開催している。

上 海

2016年11月1日（火）～4日（金）に、上海新国際博覧センターで、4つの産業技術展を開催。

- ・ PTC ASIA（自動制御・油空圧・エンジン・ガスタービン見本市）
- ・ CeMAT ASIA（アジア国際マテリアルハンドリング・イントラロジスティクス見本市）
- ・ ComVac ASIA（コンバック アジア／圧縮機械・技術、真空機械・技術）
- ・ Industrial Supply ASIA（アジア国際産業用部品見本市）

統一テーマは「Smart Manufacturing」。出展企業は1,700社、展示面積は130,000㎡、来場者数は8万人を見込んでいる。

北 京

- ・ Industrial Automation BEIJING（北京国際自動化見本市）

2016年5月11日（水）～13日（金）に、北京展覧館で開催。出展企業は210社、展示面積は22,000㎡、来場者数は17,600人。自動化技術、自動生産、工業用ソフトウェアとIT、センサ、駆動システム、コンポーネントなどが紹介された。

次回は、2017年5月10日（水）～12日（金）に、北京展覧館で開催予定。

深 圳

- ・ Industrial Automation SHENZHEN（深圳国際自動化見本市）

2016年6月29日（水）～7月1日（金）に、深圳コンベンション&エキシビションセンターで開催。中国南部では最大の自動化見本市。出展企業は450社、展示面積30,000㎡、来場者数は32,000人。自動生産、ロボット工学、マシンビジョン、電気システム、工業用ソフトウェアとIT、制御システム、流体制御技術などが紹介された。

次回は、2017年6月28日（水）～30日（金）に、深圳コンベンション&エキシビションセンターで開催予定。

アメリカ合衆国～製造業競争力強化に弾み

「HANNOVER MESSE 2016」のパートナーカントリーだったアメリカ合衆国は、オバマ大統領が過去最大の米国代表団を派遣し、自らもドイツ・メルケル首相と共に開会式に出席するなど、製造業競争力強化に向け積極的に取り組んでいる。国際コンサルティングファームであるデロイト グローバルと米国競争力協議会が発行する「2016世界製造業競争力指数」によると、アメリカ合衆国は2020年までに中国から第1位の座を獲得し、最も製造業競争力のある国となることが予想されている。

こうした中、ドイツメッセでは、2016年9月12日（月）～17日（土）に、シカゴのマコーミックプレイスで5つの産業技術展を開催。

- ・ Industrial Automation NORTH AMERICA（北アメリカ国際自動化見本市）
- ・ Motion, Drive & Automation (MDA) NORTH AMERICA（北アメリカ国際モーション・ドライブ・自動化技術見本市）
- ・ ComVac NORTH AMERICA（コンバック・ノースアメリカ／圧縮機械・技術、真空機械・技術）
- ・ Industrial Supply NORTH AMERICA（北アメリカ国際産業用部品見本市）
- ・ Surface Technology NORTH AMERICA（北アメリカ国際表面処理技術見本市）

出展企業は22カ国・地域から450社にのぼった。同時開催となった世界最大級の工作機械見本市「IMTS」と合わせると、出展企業は2,407社、展示面積は127,500㎡、来場者数は115,500人を超えるなど、世界中からアメリカ合衆国の製造業分野に対する関心を集める結果となった。

次回は、2018年9月10日（月）～15日（土）に、シカゴのマコーミックプレイスで開催予定。

インド～“Make in India”戦略

「HANNOVER MESSE 2015」のパートナーカントリーだったインドは、「Make in India」政策のもと、海外投資の誘致、イノベーションの促進、人材育成といった戦略を掲げ、政策実現に向け取組みを進めている。

ドイツメッセでは、2016年12月1日（木）～3日（土）に、ムンバイのMMRDA グラウンド BKCで、「WIN INDIA（インド国際産業技術見本市）」の総称のもと、3つの産業技術展を開催。

- ・ Industrial Automation INDIA（インド国際自動化見本市）
- ・ Motion, Drive & Automation (MDA) INDIA（インド国際モーション・ドライブ・自動化技術見本市）
- ・ CeMAT INDIA（インド国際マテリアルハンドリング・イントラロジスティクス見本市）

前回（2015年）の実績は、出展企業は21カ国・地域から350社、来場者数は9,400人だった。

トルコ～ユーラシアでの工業出荷のゲートウェイ

機械類の製造はトルコ経済の主要な原動力である。海外での売上高は2015年に134億ドルに達しており、総輸出額の9.3%を占めている。2005年から2015年まで、トルコの機械類の市場は、トルコの海外直接投資総額の20%を占めた。同時に、トルコの機械類の輸入額は、強い国内需要により2015年に260億ドルを超えた。

こうした中、ドイツメッセでは、2017年3月16日（木）～19日（土）に、イスタンブールのチューヤップ・フェア&コンgresセンターで、「WIN EURASIA Automation（トルコ国際産業技術・自動化見本市）」の総称のもと、4つの専門展示会を開催。

- ・ Otomasyon EURASIA
- ・ Electrotech EURASIA
- ・ Hydraulic & Pneumatic EURASIA
- ・ CeMAT EURASIA

産業用オートメーション、エネルギー、流体制御技術、イントラロジスティクスとサプライチェーンについて扱うこのイベントでは、南欧、中東、北アフリカ、旧ソ連構成共和国のユーザーが主な来場対象である。

前回（2016年）の実績は、出展企業は25カ国・地域から1,556社、展示面積は29,000㎡、来場者数は約7万人だった。

また、トルコのエネルギー需要は、2023年までに1,100億ドルの投資を生み出すと予想されており、これは過去10年間の投資額の2倍に当たる。これを受け、トルコ政府では、地熱、水力、太陽光、風力などの再生可能エネルギーの使用割合を増やす政策を掲げている。

こうした中、ドイツメッセでは、2017年5月3日（水）～5日（金）に、イスタンブールのイスタンブール・エキスポセンターで、ICCI（International Energy & Environment Fair and Conference）を開催する。

このイベントでは、エネルギー施設の操業や再生可能エネルギーなどの技術的テーマだけではなく、エネルギーの自由化やEUのエネルギー政策などの政治的な問題も扱う。

前回（2016年）の実績は、出展企業は24カ国・地域から279社、来場者は14,000人だった。

ハノーバーメッセ 2017 会期中取材に関するご案内

※会期中取材をご希望のプレスの方は、下記担当までご連絡ください。

プレス向けイベント

- ◆会場巡回ツアー (International Highlight Tour) : 2017年4月23日
- ◆最終プレスカンファレンス : 2017年4月28日

プレス登録 : 2017年2月中旬以降、ドイツメッセ日本代表部にて登録受付予定

現地登録所 : 4月23日 (日) : プレスセンター (コンベンションセンターに隣接)
4月24日 (月) ~ 28日 (金) : プレスセンター、会場北入口North 1、西入口West 1

プレスセンター開設時間 :

4月23日 (日) ~ 27日 (木) : 8:00~19:30
4月28日 (金) : 8:00~17:00

※プレスセンターでは、ロッカールーム、コインロッカー (デポジット : 10ユーロ)、ノートパソコン、インターネット、Wifi (無料)、ISDN、アナログ回線、FAXモデム (数量に限り有) を用意。

その他サービス : 無料駐車場、無料シャトルバス

主催者からの情報提供 :

- ◆ホームページ (<http://www.hannovermesse.de/en/info/for-journalists/press-releases/>) より提供
 - ドイツメッセ (株) 発行のプレスリリース
 - 出展企業発行のプレスリリース - 写真提供サービス
- ◆プレスセンターで提供
 - プレスカンファレンスのスケジュール (毎日更新)
 - ドイツメッセ (株) 発行のプレスリリース
 - 出展企業発行のプレスリリース - 出展企業リスト - 写真提供サービス
- ◆テレビ・ラジオの放送素材として、コピーライトフリーフィルム材料の無料提供があります。

会期中の取材申請に関する問い合わせ先 :

日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部 (担当 : 大津)
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階
TEL : 03-3434-6447 / FAX : 03-3434-8076 E-mail : DMS@jma.or.jp

■ドイツメッセ株式会社について■

ドイツ・ハノーバーを本拠地とするドイツメッセ株式会社は、ドイツの見本市主催企業の中で上位5社の位置を占めており、世界中で見本市を行っています。
主催する代表的な専門展示会には、CeBIT (情報通信)、HANNOVER MESSE (産業技術)、LABVOLUTION / BIOTECHNICA (実験技術とバイオテクノロジー)、CeMAT (インフラロジスティクスとサプライチェーン)、didacta (教育)、DOMOTEX (フロアカバリング)、INTERSCHUTZ (防災・安全)、LIGNA (木材加工・林業) など。100カ国・地域以上に計 66 の代表事務所、子会社、支店を展開しています。

以上